

島田 浩子 内容の要旨

氏 名	島田 浩子
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第 1361 号
学位授与の日付	平成 29 年 9 月 15 日
学位授与の要件	学位規則第 3 条第 1 項第 3 号に該当

学位申請論文タイトル及び掲載誌

Fibrotic focus : An important parameter for accurate prediction of a high level of tumor-associated macrophage infiltration in invasive ductal carcinoma of the breast
Fibrotic focus は、浸潤性乳管癌において、高度な腫瘍関連マクロファージの浸潤の重要な指標となる

Pathology International 2017 年 5 月 26 日 掲載受理

学位審査委員（主査）教授 佐々木 惇

（副査）教授 矢形 寛、教授 畝川 芳彦、教授 椎橋 実智男

論文内容の要旨

乳癌の浸潤性乳管癌において、Fibrotic focus (FF)は患者の予後を予測する場合に有用な組織学的因子であることは以前から報告されている。

【目的】今回、258 例の浸潤性乳管癌を対象とし、Fibrotic focus の有無で分類し、Fibrotic focus の存在が tumor-associated macrophage (TAM) の浸潤と有意な相関を示すかどうか、TAM が初回腫瘍再発の有意な指標となるか、臨床病理学的因子との多変量解析により検討した。

【方法】TAM のマーカーとして用いられる CD68, CD204, CD163 を免疫組織染色で評価した。弱拡大で hot spot を 3 か所設定し、それぞれの hot spot を強拡大で CD68, CD204, CD163 陽性 TAM 数を計測し、3 か所の平均値を cut-off 値として、低・高値群に分けた。

【結果】CD68, CD204, CD163 陽性 TAM 浸潤と最も密接に相関した因子は Fibrotic focus であった。TAM 浸潤の中で、腫瘍再発の有意な指標となったのは、CD204 陽性 TAM 高値のみであった。CD204TAM と相関した因子は、Fibrotic focus、組織異型度、ER/PR であったが、Fibrotic focus と CD204TAM からなるスコア分類は浸潤性乳管癌患者転帰を推測する上で、組織異型度と CD204TAM 並びに ER/PR と CD204TAM スコア分類に有意に優った。

【結論】Fibrotic focus は TAM 浸潤と密接に相関する形態因子であり、CD204TAM は浸潤性乳管癌内に Fibrotic focus が存在する場合、患者の転帰を正確に推測する上で極めて有用であった。